

# VQScollabo 個別指導タイプ 受講者操作マニュアル



VQScollabo 個別指導タイプは講師 1 名に対し、受講者が最大 20 名同時に参加できます。  
また講師が当てた受講者と個別指導ができます。

ソフトのインストール方法と、入室方法についてはサービスサイト(P.15)をご覧ください。

- 1 VQScollabo 個別指導タイプ操作画面について
  - 講師映像
  - 受講者映像
  - スピーカー&マイク操作
  - 挙手ボタン
  - 参加者一覧
  - その他機能ボタン
- 2 ホワイトボード機能について
- 3 録画の設定や録画データの再生・変換について
- 4 ログの取得について
- 5 VQScollabo ご利用時の注意点
- 6 その他

## 1. VQScollabo 個別指導タイプ操作画面について



### 講師映像

講師の映像を表示します。

### 受講者映像

受講者自身の映像を表示します。(他の受講者の映像は表示されません)

### スピーカー&マイク操作

スピーカー、マイクのミュート、音量調整を行います。

挙手ボタン挙手できます。ボタンをクリックすると「ピンポーン」と音が鳴り、講師に挙手を伝えることができます。

### 参加者一覧

他の受講者の一覧を表示します。

その他機能ボタン録画、設定内容呼び出すなどに使用します。

基本的に受講者側では講師が行った操作が連動するようになっています。

ホワイトボードなど講師が操作すると受講者側で表示します。

講師映像

受講者映像



それぞれ講師と、受講者の映像を表示します。また講師側で「講師映像の拡大」を行うと、受講者側で講師の映像が拡大します。

### スピーカー&マイク操作

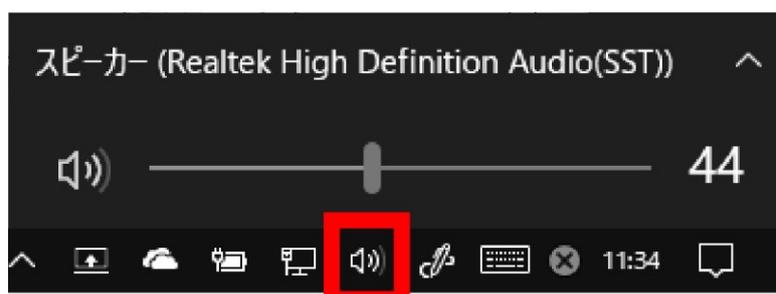
スピーカー・マイク オン状態



スピーカー・マイク ミュート状態



スピーカーとマイクのミュート（消音）を行います。それぞれのアイコンをクリックすると表示が赤色に変わり、ミュートします。右側のバーで音量を調整します



パソコンのスピーカーやマイクがミュートになっている場合、VQScollaboの音量設定を適切に行っていたとしても音がなりません。必ずパソコンの設定をご確認ください。パソコン画面のタスクバーをご確認いただき、スピーカーの音量が適切かどうかご確認ください。（通常 Windows では画面右下にタスクバーがございます）

#### 挙手ボタン



「挙手」ボタンをクリックすると「ピンポン」という音とともに講師側に通知がされます。

講師に話したいときや質問したいときに押してください。

参加者一覧他の受講者の一覧を表示します。

#### その他機能ボタン



#### 録画ボタン

クリックすると VQScollabo 画面、音声の録画を行います。入室するコマによって録画できるかできないかの権限が与えられています。録画ができない予約コマだと「録画」ボタンは表示されません。

録画の設定については P.11 をご覧ください。

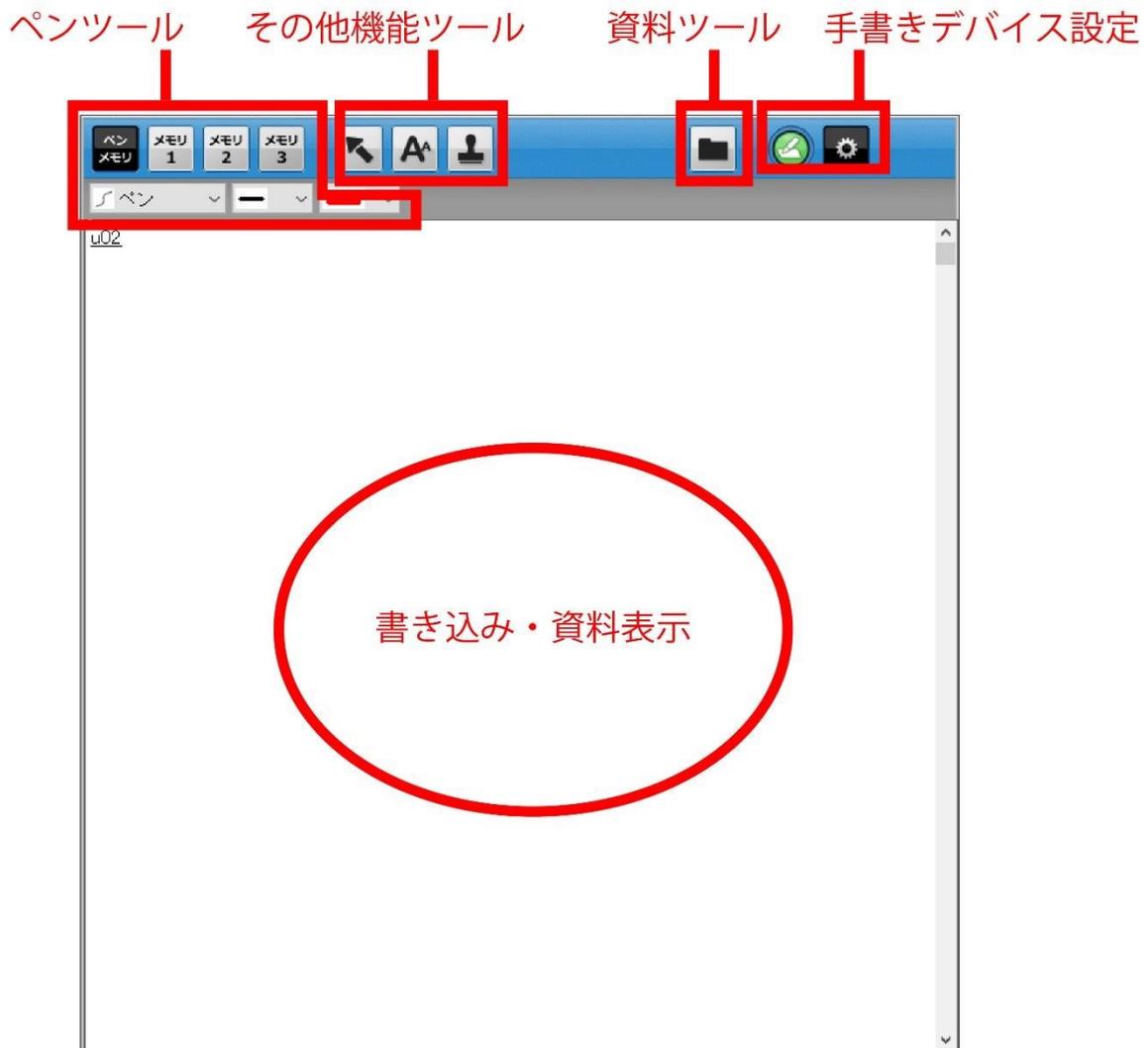
#### 設定確認

クリックすると各種設定を確認できます。音量の調整やカメラの切替など行えます。

#### 動作状況確認

クリックするとパソコンの負荷状況、映像・音声の受信、配信の送受信状況を確認できます。

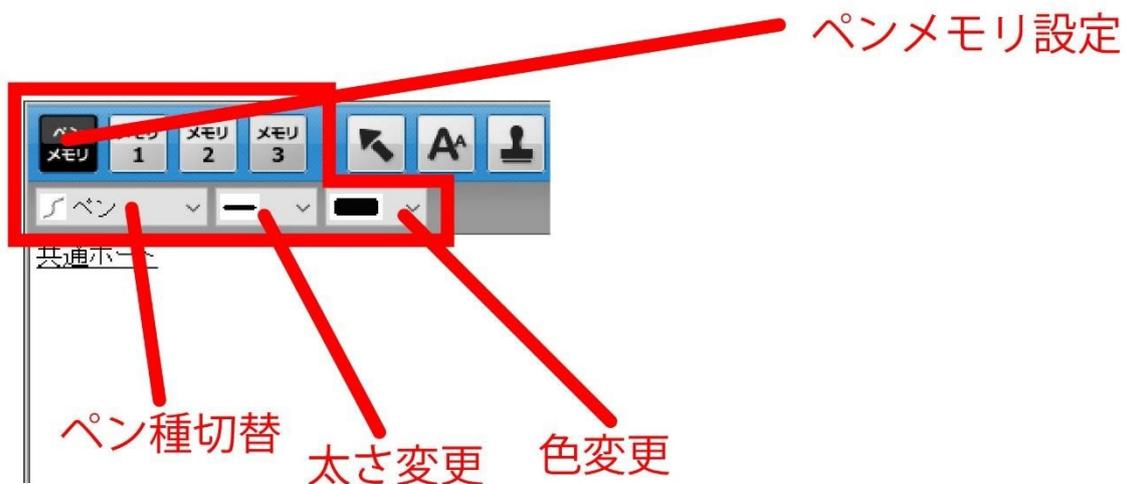
## 2.ホワイトボード機能について



ホワイトボードは教室の黒板や手元のノートのように書き込みや資料を共有する機能です。ボタンをクリックするとホワイトボードが表示します。講師側でホワイトボードを表示すると受講者側でも自動的にホワイトボードが表示されます。

VQScollabo 個別指導タイプには 2 種類の指導方法があり、講師側で選択できます。「全体指導」では全員が書き込みできる共通ボード、「個別指導」では講師と受講者自身しか書き込めない個別ボードがあります。

ペンツール



講師が書き込みを許可することで、マウスや手書き入力デバイスを使って、ホワイトボードに書き込みできます。またペン以外にも図形や消しゴムを使用することができます。線の太さや色の変更もペンツールから変更します。また「ペンメモリ」ボタンを押すと、メモリ1,2,3にそれぞれペン種の記憶ができます。

#### その他のツール



指示棒

ボタンをクリックすると指示棒が表示されます。その指示棒をドラッグしながらホワイトボード上を動かすと、同時に全参加者（受講者）のホワイトボードでも指示棒が動きます。

「ここを見て」と注目させるときに利用します。

赤色の指示棒が自身のもので、青色の指示棒が他の参加者の指示棒です。



#### テキスト

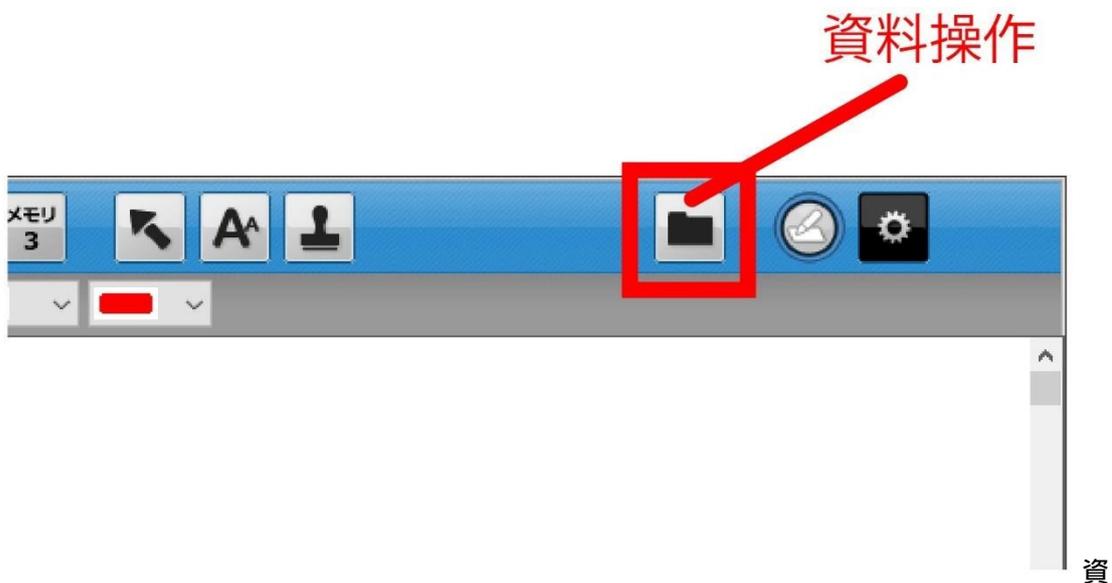
ボタンをクリックするとテキストボックスが表示されます。キーボードで文字を入力し「決定」ボタンをクリックすると文字を張り付けることができます。テキストボックスはウインドウをドラッグしながら動かすことができ、任意の位置に張り付けできます。



### スタンプ

あらかじめ作成しパソコンのローカルハードディスクに保存していたテキストやビットマップを選択してホワイトボードに張り付けできます。テキストファイル、ビットマップファイルを「C:\Users\ユーザー名\Documents\VQSCollabo Material Maker\Text\_Hints」の中に保存した状態で「スタンプ」ボタンをクリックすると、呼び出し可能なテキストやビットマップファイルが表示され、選択して張り付けできます。ウインドウをドラッグしながら動かすことができ、任意の位置に張り付けできます。

### 資料ツール



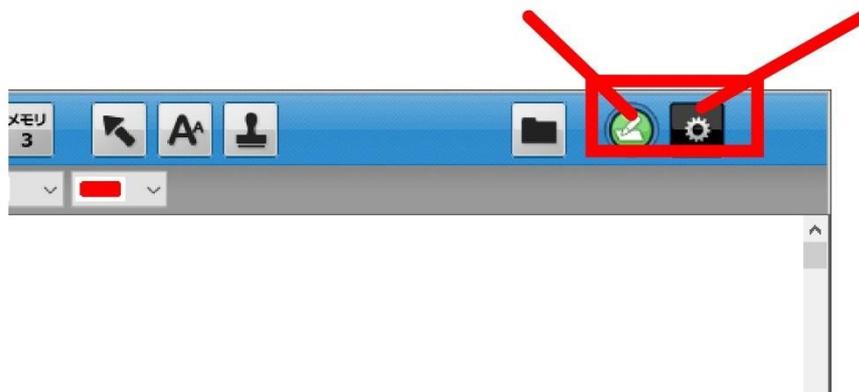
### 資料操作

資料の保存や印刷、また講師側ではペンツールで書き込みした内容を削除するなどの操作ができます。

保存： 表示している資料 + 書き込みを画像として保存します。

印刷：表示している資料 + 書き込みを印刷出力します。 手書き入力デバイス設定ツール

手書き入力デバイス状態表示 手書き入力デバイス設定



#### 手書き入力デバイス状態表示

手書き入力デバイスの接続状態を表示します。緑に点灯していると手書き接続デバイスが使用可能な状態です。また手書きデバイスの認識がされていない場合（点灯せずグレー表示）をクリックすると再認識する場合があります。

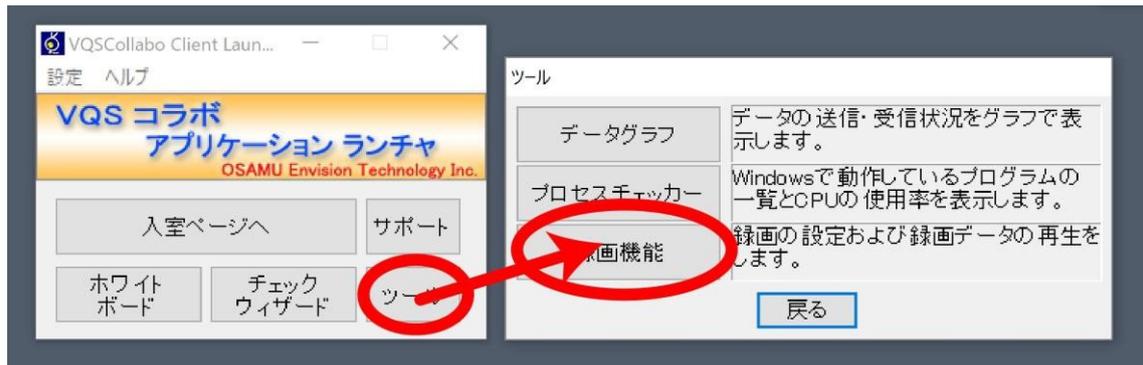
#### 手書き入力デバイス設定

使用する手書きデバイスの選択や書き込み位置の調整を行います。位置調整はガイダンスに従って設定を行ってください。

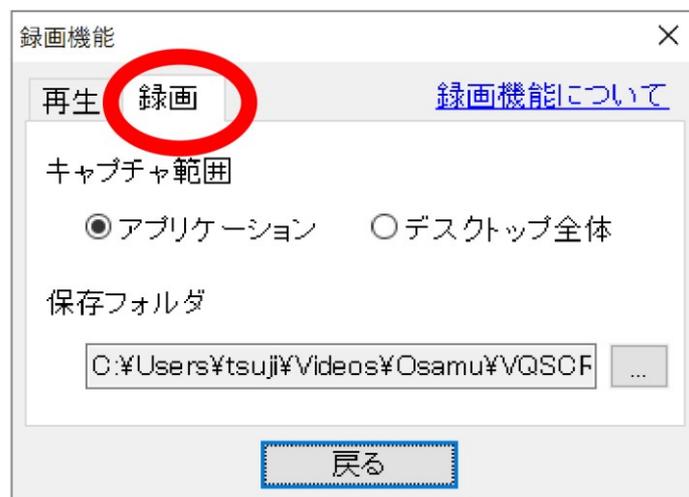
### 3. 録画の設定や録画データの再生・変換について

VQScollabo は画面と音声を録画することができます。ただしその授業の録画が許可されていないと、受講者側で授業を録画することはできません。

#### 録画の設定



録画の設定は、VQScollabo アプリケーションランチャから行います。「ツール」をクリックし、「録画機能」をクリックしてください。



録画タブをクリックすると録画設定が表示されます。キャプチャ範囲で録画する画面を設定します。

「アプリケーション」の場合は、VQScollabo の画面のみを録画します。

ホワイトボードなど別ウィンドウで開くものは VQScollabo の背景から外れると録画できませんのでご注意ください。あくまでメイン画面の範囲内を録画します。

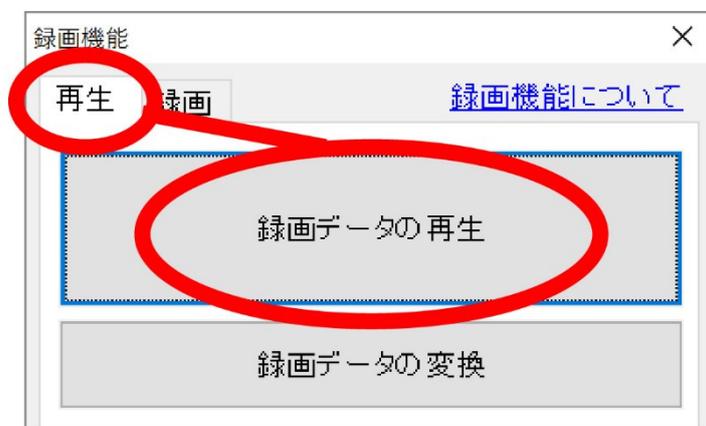
「デスクトップ全体」の場合は、パソコンの画面をそのまま録画します。ホワイトボードなど別ウインドウで開くものを VQScollabo の背景から外しても録画できます。保存フォルダは動画ファイルを保存するフォルダを設定します。

#### 録画時の注意

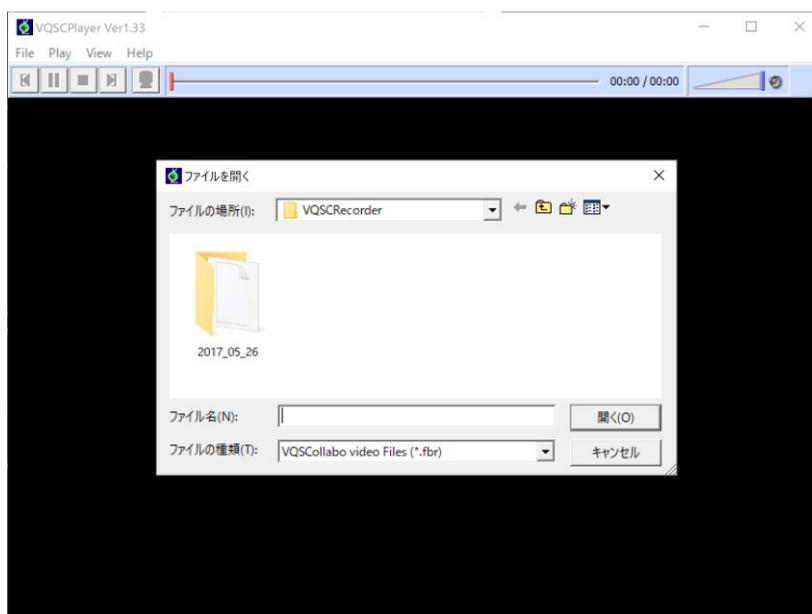
VQScollabo の録画では VQScollabo の画面を最小化すると正常な録画ができません、デュアルディスプレイで録画を行うと正常な録画ができない場合がございます。

録画時は PC の負荷が非常に高くなります。インテル Core i5 以上の CPU を搭載したパソコンで行ってください。スペックの低い PC で録画を行うと録画できなったり VQScollabo が強制終了する場合があります。

## 録画データの再生

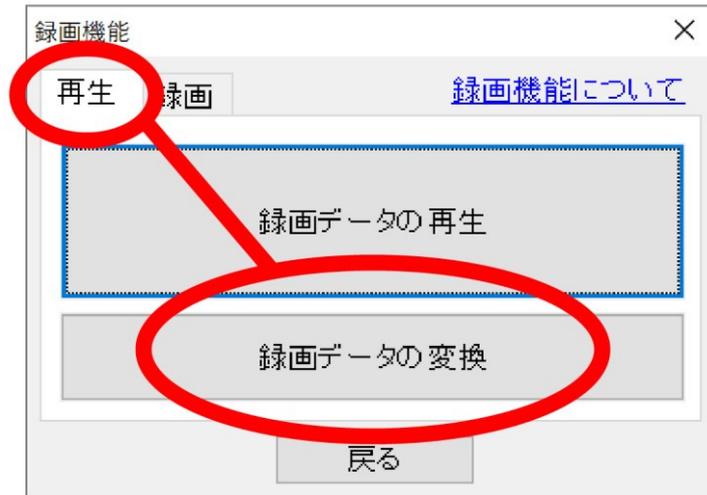


録画データの再生も VQScollabo アプリケーションランチャから行います。再生タブをクリックして「録画データの再生」をクリックして下さい。

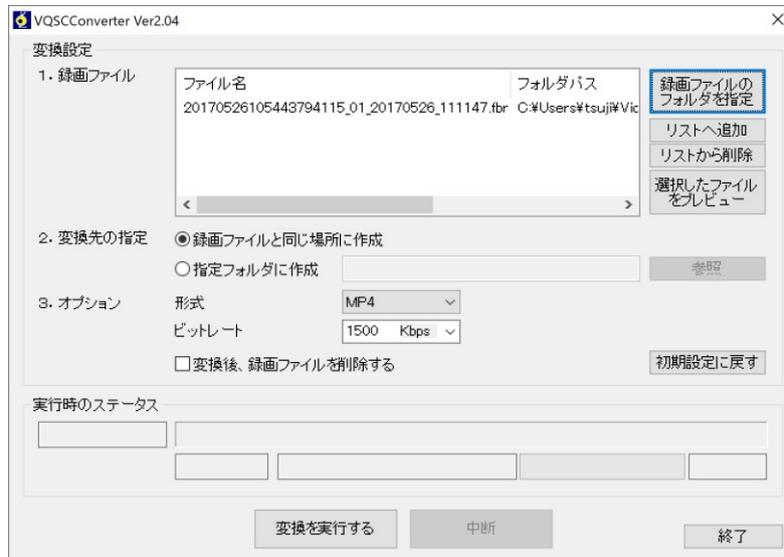


再生プレイヤーが起動し、録画データが保存されるフォルダを開くので、再生したい録画データを選択し、「開く」をクリックしてください。

## 録画データの変換



VQScollabo で録画したデータは独自形式のファイルで保存されています。汎用的なファイルにするためには、データの変換が必要です。変換ツールは、アプリケーションランチャから起動します。アプリケーションランチャ ツール 録画機能 録画データの変換の順に選択してください。



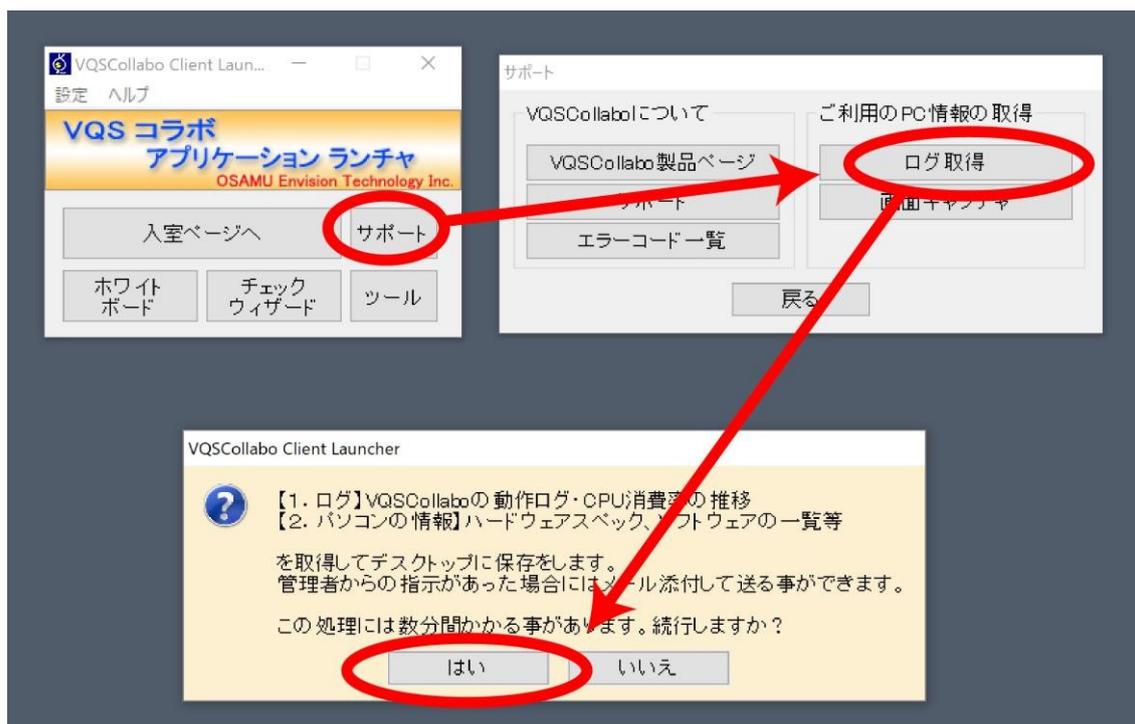
「録画ファイルのフォルダを指定」をクリックして、録画ファイルが保存されているフォルダをクリックし、フォルダを指定します。その後フォルダ内に保存されているファイルが一覧に表示されますので、変換を行うファイルを決め、「変換を実行する」をクリックします。変換形式は、MP4 と WMV に対応しています。ビットレートはデフォルトでは 1500Kbps に設定されています。お好みの設定で変換を行ってください。

**変換処理は時間がかかりますのであらかじめご了承ください。**

## 4. ログの取得について

VQSCollabo は動作中に通信ログやパソコンの負荷状況のログを記録しています。ログは 1 か月間分保存されます。(1 か月たつと自動的に削除されます)

通信中に切断が発生したり、音声や映像に途切れが発生する場合は、ログの解析を行うことで、原因の追究ができる可能性がございます。



アプリケーションランチャから「サポート」「ログ取得」「はい」をクリックします。しばらくすると、デスクトップにログファイルが作成されます。(ファイル名: VQSClog.zip)

サポート窓口へお問合せの際にログも一緒にお送りください。

ログは講師と受講者ともにいただけるとより状況が判明しやすくなります。

## 5 . VQScollabo ご利用時の注意点

PC のスペック、インターネット回線の品質によって授業がつながりにくかったり、切断、遅延、画像の乱れなどが発生する場合があります。

事前に VQScollabo で授業を受けるために必要な PC のスペック、回線かを診断するツールをご用意しております。

<https://info.vqsc.net/AreYouReady/>

PC を無線 LAN でご利用されているお客様は「**電子レンジ**」の使用にご注意ください。電子レンジを利用している際に電磁波が発生し、無線 LAN が影響を受け、切断や遅延などが発生し不安定になることがあります。

PC は起動直後様々な処理を行っています。授業を安定して受ける場合は授業が始まる**30 分前に PC を起動**していただくのがおすすめです。

授業を受けている際は**不要なソフトやアプリは終了**してください。バックグラウンドで動作を行うアプリが負荷をかけ授業に影響する場合があります。WindowsOS の自動アップデートやセキュリティソフトの自動アップデートをオンにしている場合、授業中にバックグラウンドでそれらのソフトの処理が行われ、PC の負荷が上がる場合があります。

## 6 . その他

その他トラブルの際には下記 URL をご参考ください。

VQScollabo サービスサイト

<https://vqscollabo.jp/>